

## 平成30年度 浦河町港湾審議会

日 時 : 平成31年3月28日(木) 午後2時55分から午後3時30分

場 所 : 浦河町役場 3階 第1委員会室

出席委員 : 高田勲、秋山靖典、高城顕一、逢山義幸、荒弘明、井上好次、菊地誠、山岸和男

欠席委員 : 木田尚孝、大針光晴、堀田哲哉

オブザーバー : 牧田佳巳(北海道開発局室蘭開発建設部浦河港湾事務所 所長)

事務局 : 町長 池田拓、産業課参事 住吉仁昭、産業課課長補佐 菊地伸二、産業課主査 谷口亮介

### 1. 開会

### 2. 会長挨拶

高田会長挨拶

### 3. 町長挨拶

池田町長挨拶

### 4. 議事

#### ①平成30年度港湾整備事業実績について

議事資料について事務局より説明。

[A委員] 計画通り工事を実施したということによろしいか。

[事務局] 予定していた工事を実施したが、まだ工事が残っている箇所があるので次年度で実施する。

[A委員] 水中の工事は目に見えた成果とならないが、町としても事業としても整備を進めていかなくてはいけないので、財政状況も厳しいと思うが、今後についても事業をしっかり進めていきたい。

[一同] 異議なし

#### ②平成31年度港湾整備事業の内容について

議事資料について事務局より説明。

[B委員] 西島防波堤のケーソンの上を施工するという事か。

[事務局] 現在設置されているケーソンのうち中央部は完成しているが、それ以外の部分を完成させるための要望内容となっている。また、南防波堤についても先端部分の40mが完成していないので、完成させるための測量設計となっている。

[A委員] 事業計画なので、これで決まりではないと思うが、利用者の声があれば、重点的に整備を進めるような計画にしてもらいたい。

[事務局] あくまでも要望の内容となっており、予算化はされておらず、国の予算は成立したが公表はされていない。

[B委員] 内港堤を延伸するという話があったと思うが、それは決まりなのか。

[事務局] 延伸する方向で進めていきたいと考えており、そのための測量設計を今回の要望に記載している。

[B委員] 護岸(防波)(中)(改良)というのは、第5物揚場の石かごのことか。

[事務局] そのとおりで、現在置いてある石かごを延伸する内港堤の基礎として使用し、石かごに代わる嵩上げ等をするための測量設計となっている。どのようなものが良いかは今後聞き取り等で検討していきたい。

[一同] 異議なし

③クルーズ客船「ぱしふいっくびいなす」寄港について

議事資料について事務局より説明。

[A委員] 大きさは「飛鳥」と同じくらいなのか。

[事務局] 「飛鳥」で2万8千トン、今回の「ぱしふいっくびいなす」が2万6千トンで、そこまでは変わらない大きさとなっている。

[B委員] どういう経緯で寄港することとなったのか。また、何処から来るのか。

[事務局] 町長に船社を訪問していただき、今回寄港することとなった。経路としては、神戸、横浜で乗客を乗せ、浦河港が1つ目の寄港地となる。

[一同] 異議なし

④その他

事務局からは特になし。

[C委員] カンラン岩の粉じんが町へ飛んできているので、対策を考えて欲しい。

[事務局] まず現地を確認させていただく。使用業者には、船への積み込みの際、水をかけ砂埃が舞い上がらないようお願いはしているので、再度話をさせていただく。

[B委員] 日高造船跡地について、係船できなくなるので岸壁を作るのはやめていただきたい。また、上架施設横の小型船の船揚場について、使用者が多くもめ事が起きていると聞いているので、日高造船跡地の斜路を使用できるよう検討いただきたい。

[事務局] 検討させていただく。

5. 閉会